

令和2年度

健全化判断比率審査意見書

資金不足比率審査意見書

福井県監査委員

福監第153号
令和3年8月24日

福井県知事 杉本達治様

福井県監査委員	笹岡一彦
同	西畑知佐代
同	江川権一
同	伊藤和弘

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく
健全化判断比率および資金不足比率の審査について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項および第22条第1項の規定に基づき審査に付された令和2年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率ならびにこれらの算定の基礎となる事項を記載した書類を審査した結果について、別紙のとおり意見書を提出します。

健全化判断比率審査意見書

第1 審査の対象および手続

令和2年度福井県一般会計、特別会計および公営企業会計の決算等に基づき、知事から提出された実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率および将来負担比率（以下「健全化判断比率」という。）とこれらの算定の基礎となる事項を記載した書類を審査の対象とした。

審査に当たっては、福井県監査委員監査基準に準拠し、

- (1) 提出された健全化判断比率が、法令等に照らし、算出過程に誤りはないか
- (2) 健全化判断比率の算定の基礎となった書類が適正に作成されているか

等を主眼として審査を実施した。

第2 審査の結果および意見

審査に付された健全化判断比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていると認める。

比率名	令和2年度	令和元年度	(参考) 基準	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— %	— %	3.75 %	5.00 %
連結実質赤字比率	— %	— %	8.75 %	15.00 %
実質公債費比率	12.5 %	13.0 %	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	166.3 %	172.4 %	400.0 %	

(注) 1 実質赤字比率は、実質収支が黒字であることから算定されない。

2 連結実質赤字比率は、連結実質収支が黒字であることから算定されない。

(実質公債費比率)

過去3か年平均で算出される令和2年度の実質公債費比率は12.5%と前年度と比較し0.5ポイント改善しており、また、早期健全化基準を下回る水準となっている。

(将来負担比率)

将来負担比率は166.3%と、前年度と比較し6.1ポイント改善しており、また、早期健全化基準を下回る水準となっている。

以上のとおり、令和2年度の実質公債費比率、将来負担比率はいずれも早期健全化基準を下回っている。また、令和元年度に策定した「行財政改革アクションプラン」の目標値（※）も下回っている。

本県は、今後、北陸新幹線福井・敦賀開業などの高速交通ネットワークの整備が進み、飛躍の好機を迎える。一方で、人口減少、少子高齢化、気候の変動による自然災害の増加など、社会環境の変化に伴う様々な課題が深刻化している。特に、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大は、医療、経済にとどまらず、社会全体に大きな影響を及ぼしており、今後も厳しい財政状況が続くことが予想される。引き続き適切な債権の管理と計画的な償還に努めるとともに、「行財政改革アクションプラン」を確実に実行し、中長期的視野に立った健全で持続可能な財政運営に取り組まれない。

※「行財政改革アクションプラン」の財政指標目標値

将来負担比率：200%未満

資金不足比率審査意見書

第1 審査の対象および手続

令和2年度福井県の各公営企業会計の決算に基づき、知事から提出された資金不足比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類を審査の対象とした。

審査に当たっては、福井県監査委員監査基準に準拠し、

(1) 提出された資金不足比率が、法令等に照らし、算出過程に誤りはないか

(2) 資金不足比率の算定の基礎となった書類が適正に作成されているか等を主眼として審査を実施した。

第2 審査の結果および意見

審査に付された資金不足比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていると認める。

会計の名称	資金不足比率		(参考) 経営健全化基準
	令和2年度	令和元年度	
港湾整備事業特別会計	— %	— %	20.0 %
病院事業会計	— %	— %	20.0 %
臨海工業用地等造成事業会計	— %	— %	20.0 %
工業用水道事業会計	— %	— %	20.0 %
水道用水供給事業会計	— %	— %	20.0 %
臨海下水道事業会計	— %	— %	20.0 %
流域下水道事業会計	— %	— %	20.0 %

(注) 各会計の資金不足比率は、資金不足がないことから算定されない。

以上のとおり、いずれの会計においても資金不足額はなく、資金不足比率は生じていない。引き続き健全かつ効率的な経営に努められたい。